

marina park city

# 西宮浜

マリナコミュニティ



作：児玉信子さん（花水木）

明けまして  
おめでと〜うございます。  
本年もよろしくお願ひします

昨年は西宮マリナパークシティの街びらき25周年という節目の年でした。今年は新たな第一歩の年になります。コロナ禍での自粛モードもようやく解消されてきました。西宮浜でも昨年、第1回となる夏まつりを開催し、海のまちの光のツリー点灯式では4年ぶりにコンサートや模擬店が開催されました。

本号の特集「第72回西宮市民文化祭」では地域の皆さんの活動取材しました。西宮浜マリナコミュニティでは、地域の交流が深まるような事業を企画、実施しています。また、地域に密着した情報発信に取り組んでいます。

これからもコミュニティを通じて西宮マリナパークシティを盛り上げていきますので、よろしくお願ひします。

西宮浜マリナコミュニティ一同  
（西宮マリナパークシティ協議会  
広報部会）



## いきいき 体操ふらっと 花のまち

詳細は、各まちの掲示版をご覧ください

と き：毎週木曜日 10時から12時（祝日・年末年始は休み）

場 所：花のまち マリナヴィラ コミュニティルーム ※10時までに血圧を測定してからご来場ください

持ち物：動きやすい服、上履きシューズ（室内で体操できる靴）、タオル、飲料水（水分補給用）



運営：はま café マリナ運営委員会

問い合わせ：080-3801-3004（木村）

## 西宮浜シルバーカラオケ同好会



シルバーカラオケ同好会ができたのは25年前の街びらきの年。代表の吉岡昭義さんは元演歌歌手。阪神・淡路大震災の仮設住宅時代に、高齢者を外に連れ出したいと会を立ち上げられたそうです。冊子で曲を探し、紙に書いて渡して、CDをセット！ という懐かしいシステムです。そこも同好会メンバー15人の仲が良い理由かもしれません。取材中、皆さんに乗せられて、私も1曲歌いました。^^;)



## 阪急学園吹奏楽団 いるびースターズ

25年前にいるか幼稚園の保護者が中心になって結成し、団員は29人です。練習は毎週土曜日です。

文化祭当日は50人ほどの来場者で満席となり、全14曲を披露しました。観客からは声援も上がり、拍手喝さいでした。団員からは「アットホームな雰囲気、練習も本番も楽しみながら活動する居心地の良い楽団です。イベントでは楽しいひと時を皆さんと一緒に過ごせたらと思います」とコメント。演奏経験のある新メンバーを募集中です！



## マリーナポエポエ

平成20(2008)年から活動を始め、昨年で15周年になりました。さくら祭は初年度から参加しています。地域の皆さんや元メンバーの応援のおかげで続けることができましたと思います。結成当初の山辺先生、後継された高橋先生に指導いただいています。これからも皆さんと共に楽しめるように活動していきたいです(記:市村さん)。



## キッズジャズダンス&スキップ

成田美穂先生の明るく力強い声に合わせて、基礎練習をこなしていく子どもたち。ウォーミングアップ後の本番ステージでは2曲をお披露目。それぞれの衣装に早変わりして登場しました。キラキラした笑顔と、躍動感あふれるパワフルなダンス！ 踊ることが本当に大好きだという熱い気持ちが、バンバン伝わってきました。ラストの決めポーズもバッチリ！ 「レッスンではダンスだけではなく、あいさつや返事がきちんとでき、積極性を育むことも意識しています」(成田先生談)。小学生の低学年層が少なくなっているとのこと、元気な子どもたち大募集！



編集後記：今回は盛りだくさんの素材をまとめるのに本当に苦労しました(倍の誌面でも十分構成できる情報量でした)。ご多忙中、ご協力いただいた各団体の皆さん、本当にありがとうございました！

(編集委員:木戸)

記事を読んで、何か始めてみたいと思ったあなた

各サークルに関するご案内や新しくサークルを始めようと思った人は西宮浜公民館まで

電話：0798-34-2002



# 第72回 西宮市民文化祭特集

.....  
 昨年の西宮市民文化祭は、西宮浜公民館では10/28~11/7の日程で、さまざまな展示会や公演が開催されました。久しぶりにコロナ禍前とほぼ同じ形で実施できた文化祭取材しました。  
 .....



## 花水木 (手芸)

マクラメ編みやビーズを使った作品を中心に制作しています。マクラメ編みとはひもを結んで作る技法で、手で編んだり結んだりして作るのが特徴です。日本でもよろいや山伏のほら貝周りの結びなどで使われています。1本のひもからいろんな作品を作ることができ、約20人のメンバーで楽しく作品作りに取り組んでいます (記:代表・樽井峯子さん)。

※西宮浜版1面の龍は  
 花水木のメンバー・児玉信子さんの作品です



## 関西ポップスオーケストラ

平成20年4月に西宮浜公民館で設立したビッグバンド。メンバーは17人で、学生から会社員、主婦、定年後の人まで、年齢も20代~70代と幅広いです。市民文化祭を定例として、不定期の演奏会や地域の祭りなどで、観客に親しまれている曲を中心に演奏しています。「コロナ禍で練習すらできなかったこともあったので、皆さんの前で吹けることがうれしく、感謝でいっぱいです」(バンマス・嶋田明義さん談)。当日も観客の大きな拍手とメンバーの笑顔で会場全体が一つに。最後の『六甲おろし』では大歓声が沸き起こりました。



## マリナ陶好会 (陶芸)

マリナパークシティ街びらき当初から続いているサークルです。テーマは決めずに各自思い思いに、中村恭子先生の指導で作品作りに取り組んでいます (前代表・梅田稔さん談)。展示作品も鉢や皿などの食器類から、花を生けた花瓶や小物など多岐にわたり、皆さんが自由な発想で楽しみながら作陶している様子が伝わります。現メンバーは9人で、もう少し仲間を増やしたいとのこと。陶器づくりに興味を持っている人は、一緒に作品を作ってみませんか。



## マジョリカ (タイル絵付け)

平成18年に設立し、現在のメンバーは14人。代表の水野なおみさんによると、自分たちで試行錯誤しながら、表現の幅を広げてきましたとのこと。タイル絵付けは陶器より焼成温度が低く、短い焼成時間で仕上がることや発色が安定していることが人気のポイントです。ハワイアンテイストやアニメをモチーフにした作品など、さまざまな作品が展示されていて、子ども連れの人や作品に見入っている人などでにぎわっていました。



西宮浜のひとびと(20)

藤原 雅記さん

海のまち



子どもの成長を

感じています

西宮浜の街びらきと同時にマリナパークシテイの住人となり、野球チームの活動を続けている藤原雅記さんを紹介いたします。

【西宮マリナーズを立ち上げ、監督することになったきっかけは】有志5人でマリナーズを立ち上げました。チームを一から運営していくのは大変でたくさん苦労をしてきましたが、選手たちがめきめきと成長していく姿を目の当たりにし、素晴らしい機会を得たと実感するとともに目標を持ち、一緒に過ごす中で選手たちから多くの学びを得ていることに気付きました。

野球は勝負事なので勝ち負けが重要ですが、それ以上に子どもたちが大人に成長していくために必要なことを野球を通して伝えたいと思いがら指導してきました。現在は甲陽園小学校チームと合併し、甲陽園西宮浜レイズとして活動を続けています。

【現在、女子チームも立ち上げ、活動しているとのこと】学童女子野球チームの代表をしていた6年前、あと一歩で優勝というところで敗れてしまいました。その時の6年生に、中学生になっても女子だけで野球がしたいと懇願された女子野球チーム「兵庫西宮BELLS」を立ち上げました。立ち上げから1年は部員が5人で試合すらできませんでしたが、今では35人を超え、他のチームがうらやむ部員数と組織に成長しました。

◆ ◆ ◆  
努力することや仲間がいることの大切さ、困難なことを乗り越えていく精神力を養うなど、野球を通じて子どもたちに伝えていきたいという藤原さんの熱い思いが伝わってきました。

(取材：海のまち 保岡)

西宮浜マリンフェスタ2023  
新西宮浜ヨットハーバーで開催



「西宮浜マリンフェスタ2023」の花火大会が、昨年10月8日に新西宮浜ヨットハーバーで開催されました。

例年はステージイベントや模擬店、フリーマーケットなど、朝から夕方までたくさんの方が集まりにぎわっていましたが、今回は花火だけのイベントでした。花火開始の時刻が近づくと、ヨットハーバーにはたくさんの方が集まり、秋の夜長に咲きほこる花火を楽しんでいました。

近所から見に来たという高齢の女性は「夏の花火も良いけど、秋の花火もきれいです。涼しい環境で見られる花火は最高ですね」と語っていました。

今年は開催しないそうですが、いつかまた開催されるのを楽しみにしています。

(写真提供：保岡、木戸、柴田)

